

概要: 蔵書は約400冊。鍼灸関係と現代医学で半々です。雑誌は5種類、466冊のストックがあります。ピンクに色付けした本が私の「推し」です。

分類	書名	版	著者名	出版社名	書評
鍼灸概論	鍼灸医学序説	1988	高島文一	思文閣出版	
	東洋医学概論	2015	教科書執筆小委員会	医道の日本社	
	出版年代順に並べてみると、鍼灸界が理論化にどう取り組んできたかが分かります。当初は経絡の解釈論が主ですが、トリガーポイントの概念が入ってきてから科学的な研究が進み、ファシア理論にまで発展してきました。さらに生理学的な研究成果がある程度溜まってきたので、その成果も書籍にまとめて紹介され始めています。鍼灸理論の解明は多面的に進み始めています。				
現代日本鍼灸理論	鍼灸治療基礎学 十四経絡図譜解説	1940	代田文誌	医道の日本社	
	わかりやすい経絡治療 脈診によるはり実技の入門書	1979	福島弘道	東洋はり医センター	経穴力＝刺入部位の鍼締め付け力
	経別・経筋・奇経療法	1982	入江正	医道の日本社	刺激部位のパターン化による体調変化の促進
	針灸治療学 正経と奇経の運用	1995	山下詢	医歯薬出版株式会社	
	トリガーポイント鍼療法	1997	P・E・Baldry	医道の日本社	鍼鎮痛で初めて客観的指標が示された理論
	鍼灸臨床の科学	2000	西條一止	医歯薬出版株式会社	治療姿勢による効果発現の違いを発見。喘息発作の治療方の発見、迷走神経反射の予防策の発見、補瀉の客観化に挑戦
	絵で見るトリガーポイント 筋・筋膜の疼痛と不快感に関する知識	2000	高橋清輝	アプライ	
	経絡テスト	2002	向野義人	医歯薬出版株式会社	軽刺激による可動域拡大のデモンストレーション
	誰でもできる経筋治療	2005	篠原昭二	医道の日本社	
	はじめてのトリガーポイント鍼治療	2010	伊藤和憲	医道の日本社	トリガーポイント定義の明確化を図り過ぎて実用性を制限してしまった
	図解 鍼灸療法技術ガイド 1	2012	矢野忠	文光堂	
	図解 鍼灸療法技術ガイド 2	2012	矢野忠	文光堂	
	東洋医学臨床論<はりきゅう編>	2016	教科書執筆小委員会	医道の日本社	
	肩痛・拘縮肩に対するFasciaリリース 肩関節周囲炎を中心に	2019	木村裕明	文光堂	難解だった五十肩のステージ別病態理解を解明した本
	速修 現代臨床鍼灸学エッセンス	2020	山下仁	錦房	よくぞ書いてくれた。今一番必要な本
	はりきゅう理論	2021	教科書執筆小委員会	医道の日本社	
	Faaciaリリースの基本と臨床 ハイドロリリースのすべて	2021	木村裕明	文光堂	ファシア治療の基本知識
	新版 東洋医学臨床論(はりきゅう編)	2022	教科書検討小委員会	南江堂	
	東洋医学はなぜ効くのか	2024	山本高穂	講談社	鍼灸の科学科のダイジェスト最新版
	そもそも中医学理論は1949年の中華人民共和国建国の際に体系づけられ、伝統医学を絶やさない役割は果たしたものの、今はそれが理論発展の足枷になっていると私は見えています。なので、治療を組み立てる際のヒントにはなるが、根拠にはならないと思います。今はあらゆる面で日本の鍼灸は後れを取っていますが、厳しいけれども縛りが少ない環境下に置かれているので、一周遅れで世界の鍼灸をリードする存在に大化けする可能性を持っていると思っています。				
中医学理論		1965	南京中医学院	中国漢方	
	中国針灸学講義	1977	上海中医学院	中国漢方	
	急症針灸療法	1985	田培三	山西科学教育出版社	
	百病中医自我療養叢書 便秘痢疾	1985	万本善	人民衛生出版社	
	簡明針灸治療学	1986	張桂林	天津科学技術出版社	
	傷寒論針灸配穴選注	1996	単玉堂	人民衛生出版社	
	中医学への招待2	2004	王財源		
	中医学に基づく実践美容針灸	2010	王財源	医歯薬出版株式会社	
	中医学入門	2012	神戸中医学研究会	医歯薬出版株式会社	中医学の入門書

	臨床中医臓腑学第3版	2013	王財源	医歯薬出版株式会社	
	灸法 基礎・臨床・保健	2023	謝錫亮	山西人民出版社	
	経穴の特異性については生理学の研究が進んで、体幹と末梢では作用が違うことが分かってきましたが、未だに経穴の本質に迫る研究は輩出していません。ファシアが糸口になるのではないかと思います。そんな中、ファシアで「経絡」を説明しようという本が海外から出版されました。まだ仮説です。				
経絡経穴学	灸穴図譜	1936	坂本貢	東京高等鍼灸医学校出版部	
	要穴の意義とその用法	1971	柴崎保三	柴崎東洋医学原典研究会	
	要穴表		坂本武志	漢方食養研究会	
	経穴学	1974	呉竹学園	呉竹学園	最初に習った教科書
	針灸経絡學	1977	上海中医学院	勁華文化服務社	
	臨床経穴図	1977	木下晴都	医道の日本社	
	鍼灸穴名釋義	1985	周楣声	安徽科学技術出版社	
	標準経穴学	1989	日本経穴委員会	医歯薬出版株式会社	
	経絡十講	1997	経絡十講編寫組	商務印書館香港分館	経絡概念の全体像が書いてある
	新版 経絡経穴概論第2版	2013	教科書執筆小委員会	医道の日本社	
	閃く経絡	2018	ダニエル・キーオン	医道の日本社	ファシアと経絡の融合仮説
	代表的な古典籍については研究されていますが、日中韓3か国の交流史と理論の変遷を踏まえて、本の位置づけを理解しようと関連書籍を集めているところです。最近韓国の医学史を記した貴重な本を入手し喜んでいます。また、日本における古典籍の研究も進んでおり、期待しているところです。				
日本古典籍	按腹図解	1827	太田晋斎	医道の日本社	
	柴崎保三先生特別講義参考資料	1975		東京高等鍼灸学校	古典の恩師の講義資料
	実地応用 簡明不問診察法	1976	柳谷素霊	石山針灸医学社	
	鍼灸医学と古典の研究	1977	丸山昌朗	創元社	
	素問霊枢に準拠する鍼灸治療一般の原則	1978	柴崎保三	柴崎東洋医学原典研究会	
	医心方 卷第廿八房内	1982	飯田吉郎	至文堂	
	医心方 卷第二鍼灸	1982	鎌田正	至文堂	
	鍼灸古典入門 中国伝統医学への招待	1987	丸山敏秋	思文閣出版	
	古典医書ダイジェスト	1996	山本徳子	医道の日本社	
	皆伝・入江流鍼術	2002	大浦慈観・長野仁	六然社	杉山流の元になった流派の本
	秘伝・杉山真伝流	2004	島浦和田一	杉山検校遺徳顕彰会	嶋浦和田一の残したカルテの解説書
	杉山真伝流臨床指南	2007	大浦慈観	六然社	
	倭漢三才図会 卷十一 経絡 1712	2009	寺島良安	山形県鍼灸師会	
	黄帝内经など書きノート	2012	家本誠一	医道の日本社	古典の恩師の著書
	杉山真伝流按摩舞手一 1837	2016	大浦慈観	社会福祉法人桜雲会点字出版部	江戸時代の按摩の教科書
	杉山真伝流按摩舞手 二 1838	2016	大浦慈観	社会福祉法人桜雲会点字出版部	
	杉山真伝流按腹提綱 1837	2016	大浦慈観	社会福祉法人桜雲会点字出版部	江戸時代の按腹の教科書
	杉山真伝流鍼治手術詳義		和田先生口授	大澤周益筆記	
	素問王冰注 冊一			台湾中華書局	
	素問王冰注 冊二			台湾中華書局	
	霊枢経 (全)			台湾中華書局	
	東洋医学の原典 黄帝内经素問 訳注 第1巻～第3巻		家本誠一	医道の日本社	古典の恩師の著書 漢代の鍼灸理論の本
	東洋医学の原典 黄帝内经霊枢 訳注 第1巻～第3巻		家本誠一	医道の日本社	古典の恩師の著書 漢代の鍼灸臨床論の本

中国古典籍	傷寒論 訳注		家本誠一	緑書房	古典の恩師の著書 漢代の急性熱症の治療本
	傷寒雑病論		張机仲景	広西人民出版社	
	傷寒論剖析		楊日超	昆清子	
	金貴要略 訳注		家本誠一	緑書房	古典の恩師の著書 漢代の漢方薬の本
	脈経		王叔和	香港太平書局	
	脈経校釈		福州市人民医院	人民衛生出版社	
	針灸甲乙経		皇甫謐	人民衛生出版社	
	肘後備急方		葛仙翁	集文書局	
	本草経集注 訳注 第1巻～第3巻		家本誠一	静風社	古典の恩師の著書 漢代の薬草学の本
	諸病源候論		巢元方	国立中国医薬研究所	
	黄帝内経太素		楊上善	人民衛生出版社	
	備急千金要方		文山遯叟蕭天石主	自由出版社	
	千金翼方		孫思邈	国立中国医薬研究所	
	銅人腧穴針灸図経		王惟一	五洲出版社	
	扁鵲心書		竇材重	力行書局有限公司	
	針灸資生経 十四経発揮 合刊		王執中・滑伯仁	旋風出版	
	鍼灸聚英 新校本		高武	新文豊出版公司	
	鍼灸聚英		高武	上海科学技術出版社	
	張氏類経 張氏類経図翼		張介賓	東豊書店	
	中国古代医学大系 漢方鍼灸の源流		家本誠一	静風社	古典の恩師の著書 漢代の医学解説書の決定版
医学史	黄帝蝦蟇経	1984		中医古籍出版社	
	医事略年表	1986	日本医学文化保存会		
	医学史ものがたり	1989	山本徳子	新興医学出版社	
	NHKカルチャーラジオ 人は人をどう癒してきたか 医学の歴史物語	2015	森岡恭彦	NHK出版	
中国医学史	淮南子注	1974	楊家駱	世界書局	
	素問医学の世界 古代中国医学の展開	1976	藤木俊郎	績文堂	
	「黄帝内経」の成立	1979	山田慶児		
	中国医学史講義	1984	宮下三郎	燎原	中国医学史のガイドンス本
	医学史物語(中国編)	1986	山本徳子	Medical Com panion	
	中国医学の誕生	1987	加納喜光	東京大学出版会	
	漢方のルーツ まんが中国医学の歴史	1992	山本徳子	医道の日本社	
	中国医学はいかにつくられたか 治療に取り組んだ人びとの足跡	1999	山田慶児	岩波新書	
	鍼灸医学源流考 素問医学の世界Ⅱ	2007	藤木俊郎	績文堂刊	
朝鮮史	補訂 朝鮮医学史及疾病史	1991	三木栄	思文閣出版	抜け落ちていた朝鮮医学史を埋めてくれる貴重な本
	最近米沢から3代目総検校が輩出していたことを知り、郷土史の研究に力を入れ始めたので、そうした関連資料が増えています。				
	紹襲録七一			市立米沢図書館所蔵	
	紹襲録十			市立米沢図書館所蔵	
	米沢藩医 勤書 先祖書	1817		市立米沢図書館所蔵	
	眼科要略	1863	中川淡齋		
	相良知安翁懷旧譚	1904	相良知安口述	医海時報	明治維新の時の西洋医学導入物語

日本医学史・鍼灸史・郷土史	検校あれこれ		大浦慈観		
	米沢医界のあゆみ	1963	新野辰三	米沢市医師会	
	平次郎臓図(山形市医師会史前編)	1979	吉村蘭洲		
	産家教草 全(山形市医師会史前編)	1979	阿部三省		
	山形市医師会史前編	1979	後藤嘉一	山形市医師会	
	山形市医師会史後編	1980	後藤嘉一	山形市医師会	
	日本医学史研究余話	1981	服部敏良	科学書院	
	近世漢方医学史 曲直瀬道三とその学統	1982	矢数道明	名著出版	
	昭和鍼灸の歲月 経絡治療への道	1985	上地栄	績文堂	経絡治療の成り立ちが詳しく綴られている。代田文誌率いる現代医学派に対する辛らつな批判も当時の空気感がわかって面白い
	日本鍼灸史	1986	山本徳子		
	刺鍼技術史	1991	松本弘巳	谷口書店	
	米沢藩医史私撰	1992	北條元一	米沢市医師会	
	お産の歴史 縄文時代から現代まで	2002	杉立義一	集英社新書	
	続米沢医界のあゆみ	2004	小林正義	米沢市医師会	
	病者の心を心として 庄内の医人たち	2010	黒羽根洋司	メディア・パブリッシング	
	杉山先生御伝記 写真版	2012		市立米沢図書館所蔵	
	内題 杉山先生御伝記 仮題関東惣検校三代記	2012		市立米沢図書館所蔵	関東総検校の知られていなかった貴重な記録
	評伝 銀の杖 米山検校をさがして	2012	徳間佳信	柏崎インサツ	米山検校の功績
	関東惣検校三代記 附録	2013		市立米沢図書館所蔵	
	特別展 米沢藩 医家の系譜 堀内家文書を中心に	2015	米沢市上杉博物館	川島印刷	
	米沢藩医堀内家文書 解題篇	2015	片桐一男	米沢市上杉博物館・米沢市医師会	米沢藩の医療事情がよくわかる貴重な図録
	伝播する蘭学 江戸・長崎から東北へ	2015	片桐一男	勉誠出版	
	歴史研究 特集武将の健康法 第666号	2018		合資会社〔歴研〕	
	置賜の民俗 <特集>疫病の民俗第27号	2020		置賜民俗学会会誌	
	日本の医学史		Nico-wisdom		
歴史基礎	解説 世界史年表	1962	村川堅太郎	山川出版	
	明解 日本史地図年表	1973	竹内理三	帝国書院	
	歴史基本用語集	2006	木村博一	吉野教育図書	
	詳説 日本史	2007	石井進	山川出版	
	日本史B用語集改訂版	2009	全国歴史教育研究協議会	山川出版	
	大学受験らくらくブック日本史近現代	2009	東京大学受験日本史研究会	Gakken	
	詳説 日本史図録第3版	2010		山川出版	
	標準 日本史地図新修版	2024	児玉幸多	吉川弘文館	
	標準 日本史年表	2024	児玉幸多	吉川弘文館	
	歴史の資料	2024		正進社	
理論が分からないうちは、出来るだけ臨床の記録を集めて鍼灸の守備範囲を類推し、それを自分で試しながら経験を積んできました。そのために集めた書籍群です。					
	お灸で病位を治す秘法	1933	青地正皓	主婦の友	
	鍼灸神髄 沢田流聞書	1941	代田文誌	医道の日本社	
	灸療雑話 臨床から得た尊い灸療実記	1942	代田文誌	医道の日本社	
	治験例を主とした針灸治療の実際上巻	1966	代田文誌	創元社	
	治験例を主とした針灸治療の実際下巻	1967	代田文誌	創元社	

各氏の臨床論と技法	針灸臨床ノート 下巻	1973	代田文誌	医道の日本社	
	針灸臨床ノート 上巻	1973	代田文誌	医道の日本社	
	新版 耳針療法の実際 耳のツボによる診断・治療	1977	清水蓮	刊々堂	
	神経痛掃骨鍼法 前編	1978	小山曲泉	明治東洋医学院出版部	
	神経痛掃骨鍼法 後編	1979	小山曲泉	明治東洋医学院出版部	
	お灸で病気を治した話 灸堂臨床余録 第1～10集	1980	深谷伊三郎	鍼灸之世界社	お灸治療のガイド的本
	傷寒論による漢方と鍼灸の統合診療	1983	小倉重成	創元社	
	灸療技 I 灸による治療法 施灸療技と臨床編	1985	深谷伊三郎	鍼灸之世界社	
	灸療技 II 名灸穴の研究1 図解・名灸穴の取穴法	1985	深谷伊三郎	鍼灸之世界社	
	灸療技 III 名灸穴の研究2	1985	深谷伊三郎	鍼灸之世界社	
	取穴法の全て 経穴取穴法図解	1986	深谷伊三郎	鍼灸之世界社	
	東洋医学見聞録上巻	1999	西田皓一	医道の日本社	西田医師の鍼治療体験記
	鍼灸臨床生情報 追試してみたい疾患別症例集1	1999	代田文彦	医道の日本社	土曜会のまとめ1
	症状別パルス刺激針療法の実際	1999	沢津川正一	自然社	
	鍼通電療法テクニック 運動器系疾患へのアプローチ	2001	大島宣雄	医道の日本社	
	わかりやすい 小児鍼の実際	2001	谷岡賢徳	源草社	小児鍼の入門書
	鍼灸臨床生情報 追試してみたい疾患別症例集2	2002	代田文彦	医道の日本社	土曜会のまとめ2
	東洋医学見聞録中巻	2004	西田皓一	医道の日本社	
	鍼灸の挑戦 自然治癒力を生かす	2005	松田博公	岩波新書	現代日本で活躍している鍼灸師達の紹介
	臨床針灸治療学	2005	西條一止	医歯薬出版株式会社	
	反応点治療 経絡もツボも使わない新しい針灸治療	2005	川村廣定	医道の日本社	
	奥義と実践 大師流小児鍼	2005	谷岡賢徳	六然社	
	東洋医学見聞録下巻	2007	西田皓一	医道の日本社	
	繊維筋痛症は針灸治療で治せる	2008	西田皓一	たにぐち書店	
	遠位置鍼-患部運動による疼痛緩和療法	2010	西田皓一	ヒューマンワールド	
	図解奇経療法の臨床応用	2011	西田皓一	たにぐち書店	
	自律神経に優しい星状神経節置鍼法及び上頸神経節置鍼法 西洋医療との併用を目指して	2011	渡邊一男	仙台鍼研究会	
	鍼灸OSAKA100/101 日中韓の達人に学ぶ聞かせる鍼灸の技	2011		森ノ宮学園出版部	
	うつ病の針灸治療	2012	西田皓一	ヒューマンワールド	
	九鍼実践講座DVD 九鍼の基礎実技から臨床応用まで	2012	石原克己	緑書房	
	ダイナミックロト・セラピー 動的鍼灸の理論と実践	2013	溝口哲哉	医道の日本社	
	東洋医学と現代病 生まれ変わった中医学	2019	白川徳仁	筑波出版会	
	刺鍼基本テクニックのマスター教本 木下伸一から学んだ師弟教育	2012	木下伸一	日本臨床鍼灸懇話会	
	良導絡 自律神経調整療法 基礎編	2012		日本領導絡自律神経学会学術部	
	がん患者の苦痛に対する鍼灸治療の特徴とがん治療に関する鍼灸師の技術習得	2015	伊藤恒雄		鍼灸師ががん患者にかかわる意義を解明した報告
	光藤英彦先生定年退職記念論文集 恬淡虚無 真気従之	2022	光藤英彦	刊行会	
	経絡治療の臨床研究 易しい解説と実践取穴法	2001	二木清文	滋賀経絡臨床研究会	
	ジストニアと鍼治療	2006	鈴木俊明	アイベック	ジストニア鍼治療の画期的紹介本
鍼灸の診断学も全く進まない分野です。良い研究が出てこないか待っています。					
	皮電計診断の実技第2版	1963	石川太刀雄	医学書院	

診断・診察	舌診研究第2版	1982	陳澤霖	上海科学技術出版社	舌変化の現代医学的解釈が載っている
	舌診入門テキスト	1997	丸山彰貞	たにぐち書店	
	漢方腹診考 症候発現のメカニズム	2016	寺澤かつとし	あかし出版	
	わかりやすい臨床中医診断学第2版	2016	王財源	医歯薬出版株式会社	
	運動器リハビリテーションのための超音波画像描出テクニック① 重要な筋の描出	2017	林典雄	ジャパンライム株式会社	
	運動器リハビリテーションのための超音波画像描出テクニック② 重要な筋の描出	2017	林典雄	ジャパンライム株式会社	
	漢方気血水論の研究	2018	寺澤かつとし	あかし出版	5000円は高すぎる
	脊椎エコーのすべて 頰肩腕部・腰殿部痛治療のために	2025	山田宏	日本医事新報社	
	入門 目でみる臨床中医診断学	2009	王財源	医歯薬出版株式会社	
	鍼灸院診断学 開業鍼灸師のための診断学	2024		日本臨床鍼灸懇話会	「臨床鍼灸」の総括本
法規	関係法規	1971	厚生省医務局医事課	医歯薬出版株式会社	
	関係法規第7版	2009	東洋療法学校協会	医歯薬出版社	
	あん摩鍼灸柔道整復等 営業法の解説	2014	鈴木信吾	日本鍼灸師会	
安全ガイドラインは随分と整備されました。私も若干関わっています。					
安全	鍼灸マッサージに於ける医療過誤 現場からの報告	2004	藤原義文	山王商事出版部	鍼灸マッサージの障害保険に関する詳細な報告書
	鍼灸医療安全ガイドライン	2007	尾崎昭弘	医歯薬出版株式会社	当院の安全対策はこのガイドライン
	鍼灸医療安全対策マニュアル	2010	尾崎昭弘	医歯薬出版株式会社	
その他	養生訓 全現代語訳	1982	伊藤友信	講談社学術文庫	
	小児推拿図解	1986		人民衛生出版社	
	現代に生きる養生の知恵 ことわざ東洋医学	1999	山本徳子	医道の日本社	
	代田文彦先生追悼文集 先生の御霊前に捧ぐ	2003		日産厚生会玉川病院東洋医学 研究センター有志	病院研修の恩師の追悼文集
	新日本鍼灸薬会草紙	2005	寄金文嗣	六然社	
	社会鍼灸学研究創刊号～第9号	2006～2014		社会鍼灸学研究会	
	社会鍼灸学研究 2010増刊号 日本の医学・医療と鍼灸の位置 日本近代期の私立鍼灸学校の成立過程に着目して	2010	箕輪政博	社会鍼灸学研究会	
	東洋医学で英語を学ぶ	2013	高木久代	医歯薬出版株式会社	
	はじめてのお灸レッスン ツボを温めて、元気になる！	2013	吉川信	成美堂出版	
	社会鍼灸学研究 代11号～第14号	2016～2020		社会鍼灸学研究会	
	中米ニカラグア東洋医学大学物語 東洋医学の大学を築いた八 巻晴夫の奮闘と感動の軌跡	2017	高橋正夫		研修時代の先輩がニカラグアに鍼灸大学を建てた話
	社会鍼灸学研究2020 COVID-19と鍼灸 特集号	2020		社会鍼灸学研究会	
鍼灸の業界雑誌が次々と廃刊に追い込まれています。日本鍼灸の危機ととらえ、生まれ変わりの道筋を示せないかと摸索しています。					
雑誌・学会誌	原典<家庭と治療室を結ぶ>第10号	1982		柴崎東洋医学原典研究会	
	原典<家庭と治療室を結ぶ>第11号	1983		柴崎東洋医学原典研究会	
	原典<家庭と治療室を結ぶ>第12号	1984		柴崎東洋医学原典研究会	
	臨床鍼灸 1984年1月Vol.1 No.1～2023年 10月Vol.38 No.3	1984～2023		日本臨床鍼灸懇話会	
	鍼灸OSAKA 21～139	1991～2020		森ノ宮医療学園出版部	
	医道の日本誌2003年1月号～2020年7月号	2003～2020		医道の日本社	
	社会鍼灸学研究2011特集号 災害と鍼灸 東日本大震災に鍼灸はどう取り組んだか	2011		社会鍼灸学研究会	
	全日本鍼灸学会雑誌 Vol.64 No.2～Vol.74 No.4	2014～		全日本鍼灸学会	
	Tehamo 1～11	2021～		森ノ宮医療学園出版部	

辞典	漢字の起原	1970	加藤常賢	角川書店	
	中国語小辞典	1978	鐘ヶ江信光	大学書林	
	学研 漢和大辞典	1978	藤堂明保	学習研究社	柴崎先生が師事した藤堂先生の辞書
	中国漢方医語辞典	1980	中医研究院	中国漢方	
	誰でも中医原典が読める 中国古典用語	1982	福建中医学院	日本中医学院	
	解剖学用語 改訂11版	1983	海老原熊雄	丸善	
漢方薬は漢方医に任せないといずれ無くなるだろうと個人的に思っています。新たな生薬が一つも生み出されていないことを漢方に携わる医師達はもっと重くとらえるべきです。					
漢方薬	救民薬方	1733	望月三英 丹羽正伯		
	野外ハンドブック11 薬草	1983	井波一雄	山と溪谷社	
	生薬ハンドブック	1984	山田光胤	ツムラ順天堂学術部	
	漢方製剤活用の手引き 証の把握と処方鑑別のために	1998	長谷川弥人	協和メディンター	
	日本の名薬	2000	山崎光夫	東洋経済新報社	
	洋漢統合処方からみた漢方製剤保険診療マニュアル ポケット版	2006	秋葉哲生	ライフサイエンス	
	漢方治療四十四の鉄則 山本巖先生に学ぶ病態と薬物の対応	2006	坂東正造	メディカルユーコン	
	漢方ポケット図鑑 主翁49処方生薬82種	2008	宮原桂	源草社	
	毎日役立つ からだにやさしい 薬膳・漢方の食材帳	2010	薬日本堂	実業之日本社	
	中医臨床のための中薬学	2011	神戸中医学研究会	東洋学術出版社	
	エキス剤による漢方診療ハンドブック	2012	桑木崇秀	創元社	
	漢方薬副作用百科 事例・解説・対策・提言	2014	内藤裕史	丸善出版	
	NHKきょうの健康 漢方薬辞典	2016	嶋田豊	主婦と生活社	